

第36回建設業経理事務士検定試験

4級試験問題

注意事項

1. 解答は、解答用紙に指定された解答欄内に記入してください。解答欄外に記入されているものは採点しません。
2. 金額の記入にあたっては、以下のとおりとし、1ますごとに数字を記入してください。

↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
一	千	百	十	一	千	百	十	一
億	万	万	万	万	の	の	の	の
の	の	の	の	の	位	位	位	位
位	位	位	位	位				

3. 解答は、指定したワク内に明瞭に記入してください。判読し難い文字が記入されている場合、その解答欄については採点しません。
4. 設問中の各取引について、消費税は一切考慮しないこととします。
5. 解答用紙には、氏名・受験番号シール貼付欄があります。氏名はカタカナで記入し、受験番号は受験票に付いている受験番号シールを貼ってください。なお、受験番号シールがないときは、自筆で受験番号を記入してください。
(氏名・受験番号が正しく表示されていないと、採点できない場合があります。)

〔第1問〕 次の各取引について仕訳を示しなさい。使用する勘定科目は下記の〈勘定科目群〉から選び、その記号（A～R）と勘定科目を書くこと。なお、解答は次に掲げた(例)に対する解答例にならって記入しなさい。(24点)

(例) 現金¥100,000を当座預金に預け入れた。

- (1) 営業資金が不足したため、現金¥100,000を追加元入れした。
- (2) 銀行から¥475,000を借り入れ、利息¥3,800を差し引かれた手取額が当座預金に振り込まれた。
- (3) 工事現場の電話代¥38,000が、当座預金から引き落とされた。
- (4) 本社事務員の通勤定期代¥40,000を現金で支払った。
- (5) 本社の事務用机と椅子を購入し、その代金¥300,000を小切手を振り出して支払った。
- (6) 完成した工事に係る外注費¥130,000を完成工事原価勘定に振り替えた。

〈勘定科目群〉

A 現金	B 当座預金	C 普通預金	D 受取利息	E 備品
F 土地	G 借入金	H 資本金	J 完成工事高	K 完成工事原価
L 旅費交通費	M 外注費	N 経費	Q 支払利息	R 事務用消耗品費

〔第2問〕 次の設問に答えなさい。(20点)

問1 次の文章の の中に入れるべき最も適当な用語を下記の〈用語群〉の中から選び、その記号（ア～ニ）を解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

複式簿記では、日々の取引を仕訳して、仕訳帳に記入する。そして、それらの取引を資産・負債・（純資産）・・に属する勘定科目ごとに把握するためにを設ける。の記入は仕訳帳の記録に基づいて行う。この手続きをという。また、各勘定口座の記録の正確性を検証するため、やを定期的に作成する。

こうして、会計期末になると、会計期間中に記入した諸帳簿の記録を整理して締め切るとともに、企業のを明らかにする貸借対照表とを明らかにする損益計算書を作成する。これら一連の手続きをという。

〈用語群〉

ア 総勘定元帳	イ 経営分析	ウ 残高試算表	エ 合計試算表	オ 工事原価勘定
カ 現金出納帳	キ 財務分析	ク 資本	コ 費用	サ 営業外収益
シ 営業外費用	ス 収益	セ 転記	ソ 記帳	タ 決算
チ 経営成績	ト 財政状態	ナ 会計処理	ニ 当座預金出納帳	

問2 次の各取引は簿記上、A 交換取引、B 損益取引、C 混合取引 のどれに属するか。該当する取引の記号（A～C）を解答欄に記入しなさい。

- 1 現金を当座預金に預け入れた。
- 2 現場作業員の賃金を現金で支払った。
- 3 銀行に対して借入金の返済額と利息を現金で支払った。
- 4 備品を購入し、代金は小切手を振り出して支払った。
- 5 家賃を小切手で受け取った。

〔第3問〕 次の〈資料1〉及び〈資料2〉に基づいて、解答用紙の合計残高試算表(平成×8年1月31日)を完成しなさい。

(30点)

〈資料1〉 平成×8年1月1日(期首)の勘定残高は次のとおりである。

現金 ¥650,000 当座預金 ¥950,000 備品 ¥300,000 借入金 ¥800,000 資本金 ¥1,100,000

〈資料2〉 平成×8年1月中の取引は次のとおりである。

- 4日 手許現金を補充するため、小切手¥50,000を振り出した。
- 10日 工事現場の諸経費¥13,000を現金で支払った。
- 15日 外注した工事が完成し、その代金¥30,000を支払うため同額の小切手を振り出した。
- 16日 受注した工事が完成したので発注者に引き渡し、工事代金¥700,000が当座預金に振り込まれた。
- 20日 本社事務員の当月分給料¥130,000を現金で支払った。
- 27日 工事に使用する材料を購入し、現場へ搬入した。代金¥50,000は現金で支払った。
- 28日 現場作業員の賃金¥100,000を現金で支払った。
- 30日 本社の当月分家賃¥45,000が当座預金から引き落とされた。
- 31日 借入金¥500,000の返済とその利息¥6,000の支払いのため、小切手を振り出した。

〔第4問〕 次の事項を参照のうえ、解答用紙の精算表を完成しなさい。

(26点)

- (1) 当期末において工事はすべて完成し、引渡し済みである。
- (2) 工事に関する原価は、すべて完成工事原価勘定に振り替える。